平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

1　施策No.	6-3-1		
2　地域づくりの方向	人間優先の基盤が整備された安全・安心のまち		
3　政策	魅力を支える交通環境づくり		
4　施策	総合交通戦略の推進		
5　評価担当部	都市整備部		
6　施策関連課	都市計画課		
7　評価者	都市整備部長　奥島　正信		

8　施策の目標	交通弱者の移動の確保や渋滞など交通に起因する環境負荷の低減とともに、快適な生活環境の確保、都市の活力や魅力の向上を目指し、まちづくりと都市交通が連携した総合的かつ戦略的な取組を進めていきます。 すべての区民が安心して容易に外出できるよう、各交通手段との連携を踏まえた交通体系を構築していきます。
9　施策の現状と課題	○豊島区内の未整備の都市計画道路のうち、環状5の1号線、環状4号線、放射9号線、補助26号線、補助73号線、補助81号線、補助82号線、補助172号線、補助176号線が事業中である。 ○都市計画道路の整備により変化する交通環境を捉えて、鉄道との立体交差化による踏切解消やバス路線を再編するほか、あらゆる交通手段のあり方を総合的に検討し、新たな交通ネットワーク網を形成していく必要がある。 ○池袋駅周辺は、駅前に流入する通過車両により自動車と歩行者が輻輳しており、歩行者が安全・安心に通行することが懸念されている。 ○池袋駅周辺では、環状5の1号線地下通路の完成により通過車両の大幅な減少が予測され、快適に回遊できる歩行者空間を拡大するとともに、特定都市再生緊急整備地域による官民一体となった都市再生事業を活発化し、新たな拠点として東京メトロ副都心線の新駅設置に向けて協議していく必要がある。
10　施策の実現に影響を及ぼす環境の変化（法改正、社会状況等）	
11　今年度の施策の取組方針	誰もが利用しやすく、移動しやすい交通体系の実現に向けた検討を進める。

12　投入コストの推移

費　目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費合計（千円）	119,141	108,340	115,884	0	0
うち一般財源分（千円）	119,141	108,340	80,971	0	0

13　施策の達成度を測る指標の推移

指標(1)	基本計画指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
「鉄道・バス等の交通が便利である」と考える区民の割合【%】		目標値	85.0%	85.5%	86.0%	86.5%	87.0%
		実績値	85.4%	85.20%	86.30%		
		達成率	100.5%	99.6%	100.3%	—	—
		達成状況	A：達成	B：相当程度達成	A：達成		
指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由	誰もが利用しやすく移動しやすい交通体系が、区民の要望や期待に応じることができているのかを示す指標であるため				

指標(2)	基本計画指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
区内の都市計画道路の整備状況【%】		目標値	69.50%	70.30%	78.50%	86.70%	86.70%
		実績値	64.50%	65.88%	65.91%		
		達成率	92.8%	93.7%	84.0%	—	—
		達成状況	B：相当程度達成	B：相当程度達成	B：相当程度達成		
指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由	都市骨格軸となる都市計画道路は、周辺地域の連携と交流を支え、さらなる利便性や安全性を向上する交通体系のあり方の指標となるため				

14　施策達成状況

平成30年度達成状況	92.2%	【達成状況分析】
B：相当程度達成		区内には、平成27年1月に特定整備路線の5路線7区間が事業化するとともに、環状5-1号線の地下道路など多くの都市計画事業がすすめられ都市計画道路による交通ネットワークが拡大しつつある。特に環状5-1号線開通後は、池袋駅前を歩行者優先の空間として整備する計画である。こうしたことも起因して、区民意識調査の結果では、鉄道やバスなどの公共交通が便利であるが8割以上を占め区民の要望・気体におおむね答えていると考える。 今後は、順次開通する都市計画道路の状況を踏まえて、交通のあり方をさらに検討していく必要がある。
		【指標重要度の割合の設定理由】
		都市計画道路の整備は、交通体系の利便性や安全性の向上に大きく影響し区民の満足度向上とも相関関係にあると考えられるため50対50とする。

15　施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	施策を構成する現在の事務事業は、特性が計画策定の色彩が強く、達成度を測る指標との関係を考えると、効果を上げにくい。しかしながら、誰もが利用しやすく、移動しやすい交通体系を実現していくためにも、実証実験や社会実験などを交えながら計画的に事業を進めていくことは当然必要であると考える。

平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

16　施策貢献度の考え方 （設定の根拠・理由）	各事業の中で、期限を定め政策的に実施する「池袋副都心移動システム」については、★★★、池袋駅周辺地域における歩行者優先空間の創出に不可欠な「池袋副都心交通戦略推進事業」、「池袋駐車場整備計画の策定」並びにコミュニティバス路線として高齢者需要の高い「地域公共バス運行支援事業」を★★、「地域交通政策検討推進事業」を★とした。
17　来年度の方針 （課題解決策や改善策、成果向上策について）	池袋副都心交通戦略実現に向け、Hareza池袋グランドオープンまでに、関係機関と協議の上、南北区道の歩行者優先化を実施する予定である。 駐車場地域ルールを運用していくためのマニュアル作成、運用体制の構築について、軌道に乗るまでは行政が関わる必要がある。
18　新規・拡充事業の 効果や必要性	南北区道の歩行者優先化までのルール作り、歩行者優先化実施後の効果を検証する必要がある。 地域ルール運用までのルール作り、運用組織の立ち上げ、運営補助、荷捌き駐車場の確保等行政の支援も検討する必要である。

19　施策を構成する計画事業

事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1001-17	池袋副都心交通戦略推進事業		事業費合計（千円）	30,428	40,740	24,929		
			うち一般財源分（千円）	30,428	40,740	24,929		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	A:現状維持			
1001-18	地域交通政策検討推進事業		事業費合計（千円）	17,464	8,933	8,508		
			うち一般財源分（千円）	17,464	8,933	8,508		
			現状評価	A：良好	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★	★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	B:改善見直し			
1001-19	池袋駐車場整備計画の策定		事業費合計（千円）	25,548	13,798	30,117		
			うち一般財源分（千円）	25,548	13,798	13,359		
			現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持			
1101-01	地域公共バス運行支援事業		事業費合計（千円）	45,701	23,802	20,305		
			うち一般財源分（千円）	45,701	23,802	20,305		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持		

20　施策を構成する一般事業

事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1101-02	池袋副都心移動システム推進事業		事業費合計（千円）		21,067	32,025		
			うち一般財源分（千円）		21,067	13,870		
			現状評価		B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度		★★★	★★★		
	事業特性2	国・都補助 + 区上乗せ	今後の事業の方向性		A:現状維持	A:現状維持		

平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

1　施策№	6-3-2		
2　地域づくりの方向	人間優先の基盤が整備された安全・安心のまち		
3　政策	魅力を支える交通環境づくり		
4　施策	道路・橋梁の整備と維持保全【重点】		
5　評価担当部	都市整備部		
6　施策関連課	土木管理課	道路整備課	公園緑地課
7　評価者	土木担当部長		

8　施策の目標	安全・快適で地域の価値を高める道路整備を進めていきます。 施設の長寿命化やライフサイクルコストの最小化、更新時期の平準化などにより、既存ストックの有効活用を進め、安全・安心な道路・橋梁のネットワークを構築していきます。
9　施策の現状と課題	・道路は交通の動脈であるばかりでなく、緊急時の物資輸送、災害時の活動や避難経路など防災上の重要な役割を担い、また、まちの骨格と生活基盤を形成しています。 ・都市計画道路の完成率は約65%（平成30年度末）で、現在事業中の路線（特定整備路線等）が完成すると約87%になる見込みです。都市施設G資料より ・豊島区内道路の延長は、国道、都道、区道を合わせて約304kmあり、その約93%となる283.9kmは区道として豊島区が管理しています。豊島のまちづくりより ・都市計画道路など都市の基盤となる新たな道路づくりを効率的に進めることにより、地域の大切な資産となります。 ・道路や橋梁の管理を対症療法型から予防保全型への転換により、事故防止とコスト縮減を図り、既存ストックの有効活用を進めていく必要があります。
10　施策の実現に影響を及ぼす環境の変化（法改正、社会状況等）	・笹子トンネル天井板崩落事故をきっかけとして、平成25年度に道路法が改正された。この改正により、道路・橋梁等については、平成26年度から5年に一度の近接目視点検が義務付けられた。
11　今年度の施策の取組方針	・適正な道路の維持管理による事故防止を図る。 ・橋梁や構造物の管理を事後保全型から予防保全型へと転換を図る。

12　投入コストの推移

費　目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費合計（千円）	1,701,535	1,310,441	1,808,551	0	0
うち一般財源分（千円）	869,542	1,287,258	1,591,697	0	0

13　施策の達成度を測る指標の推移

指標(1)	基本計画指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
管理橋梁の健全度Aの割合【%】		目標値	70	85	85	85	90
		実績値	85	85	85		
		達成率	121.4%	100.0%	100.0%	—	—
		達成状況	A：達成	A：達成	A：達成		
指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由	道路・橋梁が適切に維持管理されていることを示す指標のため				

指標(2)	基本計画指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
遮熱性舗装を実施した累計面積【㎡】		目標値	23,000	25,500	33,000	34,000	35,000
		実績値	27,650	30,951	31,744		
		達成率	120.2%	121.4%	96.2%	—	—
		達成状況	A：達成	A：達成	B：相当程度達成		
指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由	道路インフラを活用したヒートアイランド対策は、都市環境の向上を図る非常に有効な手法なため指標として設定した。				

14　施策達成状況

平成30年度達成状況	98.1%	【達成状況分析】
B：相当程度達成		・豊島区内の全橋梁の14橋中、12橋が健全度A（判定区分Ⅰもしくは Ⅱ）が確保されており、計画的な補修と適正な維持管理が行われている。 ・遮熱性舗装は、幹線道路を中心に施工を行い効率的に工事面積を増やしている。今後、、幹線道路以外の生活道路路線の施工が中心になるので、効率的な施工を行うことが求められる。
		【指標重要度の割合の設定理由】
		・道路基盤としての重要性と、環境対策としての重要性を鑑み、双方とも同じ重要度とした。

15　施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	・予防保全型への維持管理体制を確立するために段階的に構造物の調査や、路面下性状調査を行い、目標としている成果を達成している。 ・都市計画道路176号線、大塚駅駅前、旧庁舎・新庁舎周辺などのまちづくりなどに併せた道路整備もスケジュール通り進捗している。 ・遮熱性舗装を幹線道路に積極的に施工することで、ヒートアイランドの低減を図るとともに、先駆的な緑化技術であるモザイカルチャーを道路緑化として行うことで、豊島区の環境イメージの向上に貢献している。
16　施策貢献度の考え方（設定の根拠・理由）	・都市生活の基礎的基盤である道路等を適正に維持するためには、正確な道路状況の把握による道路事故の予防と、効率的な保守管理によるライフサイクルコストの低減が必要である。また、ヒートアイランド対策などの環境に配慮した道路改良も求められており、いずれの事業も施策の貢献度は高い。

平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

17　来年度の方針 （課題解決策や改善策、成果向上策について）	・路面下空洞調査の結果に基づき、補修計画を策定しすることで、予防保全型の保守管理体制を構築する。もって、経済的な道路管理を実現していく。
18　新規・拡充事業の効果や必要性	

19　施策を構成する計画事業

事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1102-2	橋梁の点検調査及び整備		事業費合計（千円）	277,943	44,922	306,841		
			うち一般財源分（千円）	188,992	30,520	137,479		
			現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1	維持管理事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		
1102-01	区道の安全安心通行空間確保事業		事業費合計（千円）	698,633	797,945	846,870		
			うち一般財源分（千円）	104,331	797,945	846,870		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持		
1102-03	私道舗装助成		事業費合計（千円）	15,044	16,742	24,925		
			うち一般財源分（千円）	15,044	16,742	24,925		
			現状評価	A：良好	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★	★	★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持		
1102-04	大塚駅周辺整備事業		事業費合計（千円）	13,175	228,935	78,497		
			うち一般財源分（千円）	13,175	228,935	78,497		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		
1102-05	池袋西口駅前広場モザイカルチャー設置事		事業費合計（千円）	10,644	11,867	12,639		
			うち一般財源分（千円）	10,644	11,867	12,639		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★	★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		
1102-06	区道の整備事業		事業費合計（千円）	291,357	139,207	152,633		
			うち一般財源分（千円）	256,765	139,207	152,633		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		
1102-07	庁舎跡地・新庁舎周辺道路整備事業		事業費合計（千円）	60,446	21,287	206,949		
			うち一般財源分（千円）	60,446	16,727	206,949		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★		
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持		
1102-08	都市計画道路の整備事業		事業費合計（千円）	297,080	14,875	135,129		
			うち一般財源分（千円）	186,825	14,875	91,655		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		
1103-05	街路灯事業		事業費合計（千円）	326,640	401,227	402,929		
			うち一般財源分（千円）	6,115	7,147	122,465		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		

20　施策を構成する一般事業

事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1101-03	道路占用事務		事業費合計（千円）	33,843	31,291	38,018		
			うち一般財源分（千円）	29,950	27,070	34,000		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)		
1101-04	屋外広告物の許可事務		事業費合計（千円）	3,370	3,370	6,050		
			うち一般財源分（千円）	3,370	3,370	6,050		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★	★	★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		

平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

1　施策№	6-3-3		
2　地域づくりの方向	人間優先の基盤が整備された安全・安心のまち		
3　政策	魅力を支える交通環境づくり		
4　施策	自転車利用環境の充実		
5　評価担当部	都市整備部		
6　施策関連課	土木管理課		
7　評価者	土木担当部長　原島克典		

8　施策の目標	東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、都や隣接自治体と連携して、安全で快適な自転車の走行環境の整備を進めていきます。 駐輪場の拡充や設備更新等により自転車の利用環境を充実していきます。 自転車の放置対策を継続し、放置自転車の発生を抑制していきます。
9　施策の現状と課題	豊島区では放置自転車対策を喫緊の課題と捉え、鉄道事業者等の協力のもとで「駐輪場の整備」と「放置自転車の防止」の施策を強く推進した結果、平成11年度11,468台の放置台数が平成30年度455台までに激減した。平成27年4月現在「豊島区自転車等の利用と駐輪に関する総合計画」による整備目標台数（6,500台）を計画期間内に達成したが、まだ、駅周辺の駐輪需要が満たされていない地域があるとともに、自転車の多様化が進み既存の自転車施設が老朽化しているため、今後も整備・改修が必要である。また、自転車駐車場利用率を上げるため指定管理者による管理運営を拡大し、利用者の利便性を向上させる必要がある。
10　施策の実現に影響を及ぼす環境の変化（法改正、社会状況等）	平成28年12月に自転車活用推進法が制定されたことにより、自転車専用道路・自転車専用通行帯等の整備、路外駐車場の整備、シェアサイクル施設の整備、交通安全に係る教育及び啓発、自転車活用による国民の健康の保持増進、自転車と公共交通機関との連携の促進などが求められている。また、自転車の大型化などにも対応できる施設整備も必要になっている。
11　今年度の施策の取組方針	放置自転車対策については、引続き放置が増える夜間・休日における撤去活動を強化する。自転車駐車場等の整備については、自転車駐輪機のシステムの入れ替え等による自転車施設の老朽化対策及び自転車の多様化の対応を実施する。また、自転車駐車場の指定管理者による管理運営を拡大するとともに、自転車専用道路・自転車専用通行帯等の整備については、自転車走行空間レーンの整備を実施する。

12　投入コストの推移

費　目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費合計（千円）	1,904,059	714,931	746,251	0	0
うち一般財源分（千円）	1,412,135	320,364	345,004	0	0

13　施策の達成度を測る指標の推移

指標(1)	基本計画指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
駅周辺の自転車等乗り入れ台数に対する放置自転車台数の割合【%】【放置台数/（放置台数＋駐輪場利用台数）】		目標値	6.1	5.8	5.5	5.2	5
		実績値	5.6	4.1	3.8		
		達成率	108.2%	129.3%	130.9%	—	—
		達成状況	A：達成	A：達成	S：目標超過達成		
指標重要度の割合(%)	100	指標設定理由	毎年継続して調査を実施しており、放置台数と駐輪場利用台数が密接に関係しているため				

14　施策達成状況

平成30年度達成状況	130.9%	【達成状況分析】
S：目標超過達成		「駐輪場の整備」と「放置自転車対策」を推進した結果、年々放置自転車台数が減少してきており、目標値を大きく上回った。
		【指標重要度の割合の設定理由】
		放置台数と駐輪場利用台数が密接に関係しており、放置自転車対策の達成状況が一目で把握できるため。

15　施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	駐輪場整備等による自転車収容台数を増加させることに加え、夜間、休日における撤去活動の強化等、徹底した放置自転車対策を行ったことにより、駐輪場利用台数の増加及び放置自転車台数を減少させることが出来た。
16　施策貢献度の考え方（設定の根拠・理由）	放置自転車対策として受け皿となる「自転車駐車場等の整備」は、放置禁止区域の設定に必要であり、放置自転車の撤去活動とともに欠かすことが出来ないもので、放置自転車が激減した最大の要因である。「自転車駐車場等管理運営事業経費」については、利用者の利便性の確保、向上のため恒久的に続くものである。「豊島区自転車等の利用と駐輪に関する総合計画の推進」については、平成29年度以降、自転車走行空間の計画策定、整備、シェアサイクルの導入等、放置自転車対策だけでなく、自転車事故防止も含めた自転車利用環境の充実に大きく貢献するものである。

平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

17　来年度の方針 （課題解決策や改善策、成果向上策について）	「第二次豊島区自転車等の利用と駐輪に関する総合計画」の『自転車等駐車場整備の推進(地域構想)』の各駅周辺の自転車等駐車場整備方針に基づき、自転車駐車場の整備及び改修を進め、放置率減少を目指すとともに利用者の利便性の向上を図る。また、「自転車活用推進法」に沿って、国や都、近隣自治体とも協力して自転車の利活用を推進する。「豊島区自転車走行環境計画」に基づく自転車ナビラインの整備を行う。
18　新規・拡充事業の効果や必要性	・自転車駐車場の定期利用者の利便性向上のため、令和2年4月1日から定期利用の複数月での更新導入をおこなう。令和元年度は条例改正を行うとともに、精算機や券売機のシステムの改修等を実施する。 ・「第二次豊島区自転車等の利用と駐輪に関する総合計画」に基づき、自転車利用環境を向上し、快適なまちづくりを実現するために平成30年6月「豊島区自転車走行環境計画」を策定した。その実現のために令和元年度以降その整備を実施していく必要がある。

19　施策を構成する計画事業

事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1101-08	放置自転車対策の推進事業		事業費合計（千円）	291,065	275,188	240,617		
			うち一般財源分（千円）	217,573	216,804	177,341		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		
1101-10	自転車駐車場等の整備 （自転車保管所の整備含む）		事業費合計（千円）	1,215,555	64,220	67,788		
			うち一般財源分（千円）	1,116,355	60,420	62,788		
			現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★		
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持		

20　施策を構成する一般事業

事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1101-09	自転車駐車場等管理運営事業経費		事業費合計（千円）	385,588	357,018	424,468		
			うち一般財源分（千円）	66,356	24,635	91,497		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	A:現状維持		
1101-11	豊島区自転車等の利用と駐輪に関する総合計画の推進		事業費合計（千円）	11,851	18,505	13,378		
			うち一般財源分（千円）	11,851	18,505	13,378		
			現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★	★	★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)		